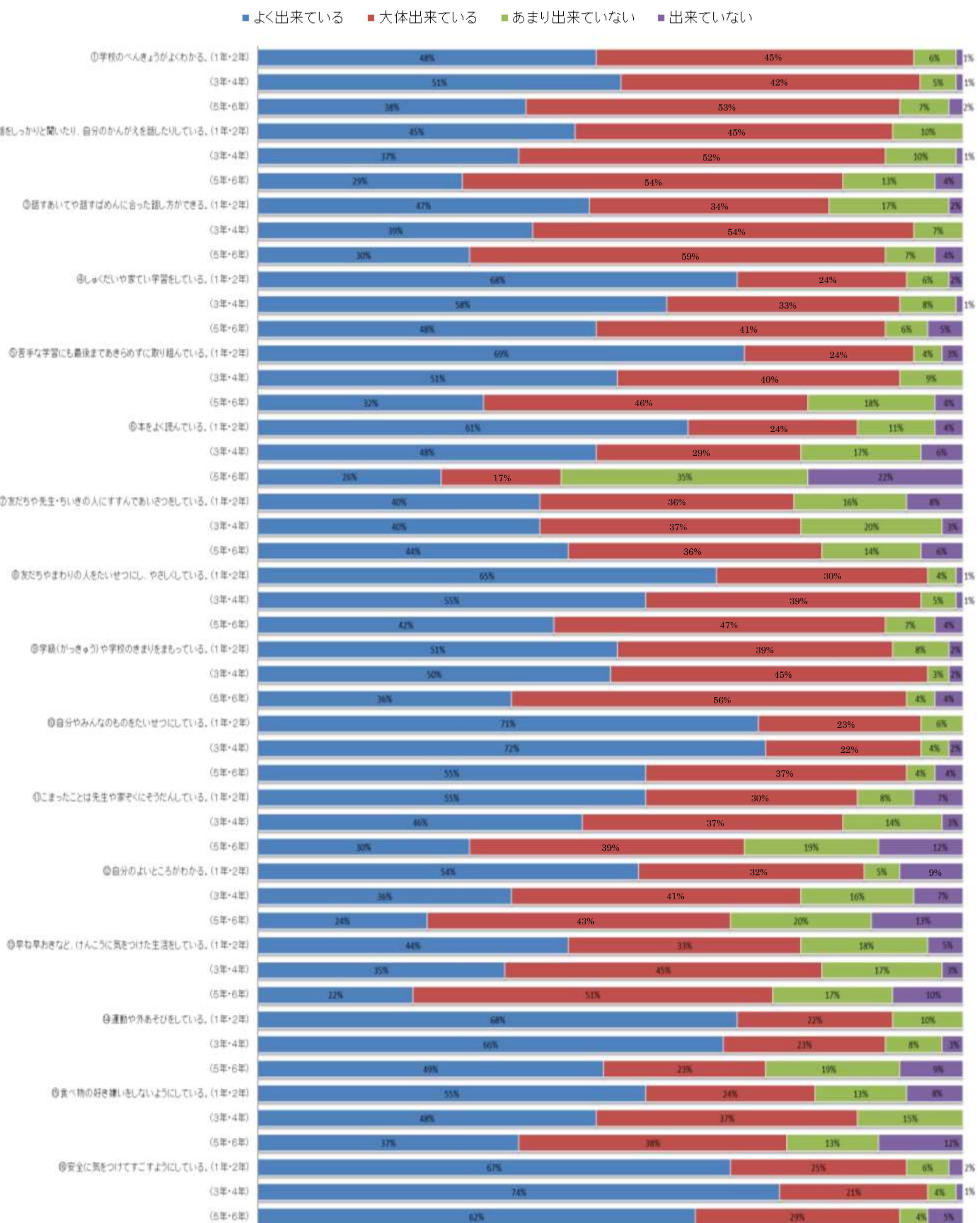




令和6年度後期の「ふりかえりアンケート」を実施するにあたり、ご協力をいただきましてありがとうございました。

ふりかえりアンケートでは、児童・保護者・教職員がそれぞれの立場で自己評価を行い、それぞれの項目に対する意識の数値化を行っています。その結果から傾向をとらえて、そして実態とも照らし合わせ、朱雀第八小学校の学校教育に生かしていくものとしています。また、自由記述欄には貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。いただきましたご意見のすべては全教職員で共通理解しています。現在のよい取組を大切にしながらも改善すべきことを真摯に受け止め改善に取り組み、充実した朱雀第八小学校の教育活動が実践できるよう、全教職員で取り組んでいきます。

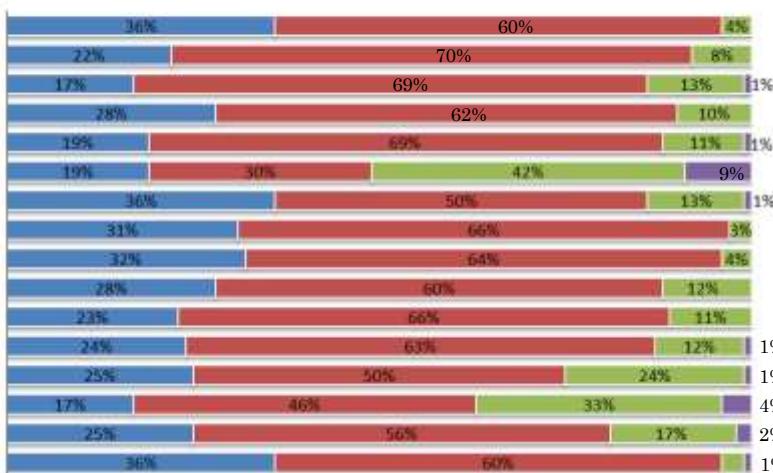
## 令和6年度後期 児童アンケート



## 令和6年度後期 保護者アンケート

■よく出来ている ■大体出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない

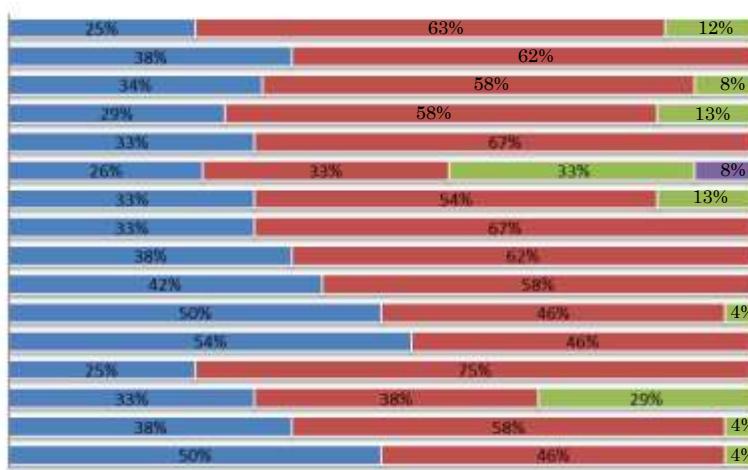
- ①学校は子どもに分かりやすい授業を進めている。
- ②家庭では、話をしっかりと聞いたり、自分の考えを話したりするように働きかけている。
- ③家庭では、話す相手や話す場面に合った話し方ができるように声かけをしている。
- ④家庭では、宿題や家庭学習の習慣が身に付くように声かけをしたり。勵ましたりしている。
- ⑤家庭では、苦手な学習にも最後まであきらめずに取り組むことができるよう働きかけている。
- ⑥家庭では、子どもに進んで本を読むように働きかけている。
- ⑦家庭では、子どもが進んであいさつをするように声かけをしている。
- ⑧家庭では、友だちを大切にしたり、やさしい心が育ったりするように働きかけている。
- ⑨家庭では、きまりを守るように働きかけている。
- ⑩家庭では、子どもがものを大切にするように働きかけている。
- ⑪家庭では、子どもの話を聞いたり、話しやすい雰囲気をつくれたりするようにしている。
- ⑫家庭では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。
- ⑬家庭では、早寝・早起きなどの基本的な生活習慣を身につけられるようにしている。
- ⑭家庭では、運動や外遊びをするように働きかけている。
- ⑮家庭では、好き嫌いをせずに食べられるように働きかけている。
- ⑯家庭では、安全に気を付けて過ごすことができるよう働きかけている。



## 令和6年度後期 教職員アンケート

■よく出来ている ■大体出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない

- ①一人ひとりに分かる授業を工夫している。
- ②話をしっかりと聞いたり、自分の考えを話したりするように指導している。
- ③話す相手や話す場面に合った話し方ができるように指導している。
- ④宿題や家庭学習の習慣が定着するように取り組んでいる。
- ⑤苦手な学習にも最後まであきらめずに取り組むことができるよう働きかけている。
- ⑥本が好きな子どもに育つように取り組んでいる。
- ⑦子どもが進んであいさつをするように指導している。
- ⑧友だちを大切にし、やさしくできる学級づくりをしている。
- ⑨きまりを守るように指導している。
- ⑩子どもがものを大切にするように指導している。
- ⑪子どもや保護者の思いを受け止め、相談にのっている。
- ⑫子どものよさを認め、ほめている。
- ⑬早寝・早起きなど、健康に気をついた生活ができるように取り組んでいる。
- ⑭子どもが運動や外遊びをするよう働きかけている。
- ⑮子どもが好き嫌いをせずに食べられるよう働きかけている。
- ⑯子どもが安全に気をつけて過ごすことができるよう指導している。



### ④ 「家庭学習」に関する項目

児童 90% (+2)、保護者 90% (+5)、教職員 87% (-3) ができているとする肯定群を選択しています。多くの児童が家庭学習を自分事として捉えて進めています。中学年以降に取り組んでいる自主学習にも充実が見られます。自分の見つけた課題にじっくりと取り組む様子が、ノートなどからうかがうことができました。低学年を「家庭学習の習慣づけ」、中学年を「家庭学習の定着」、高学年を「自学自習の確立」と目標を立てて取り組んできました。保護者の皆様、放課後まなび教室の皆様には大変お世話になりました。いつもありがとうございます。

### ⑤ 「あきらめずに取り組む」に関する項目

児童 86% (-1) が肯定群を選択しています。今年度の6年生を対象に実施した「全国学力学習状況調査」では、国語科・算数科の全て、どの領域どの問題においても全国・京都府の平均を上回る結果となりました。無回答率が下がり、粘り強く取り組む力が伸びてきていることがわかりました。児童の状況を丁寧にみとり、努力してきていることをしっかりと褒めること・認めることを大切にしていきたいと思います。

### ⑥ 「読書」に関する項目

児童の 68% (-8)、保護者 59% (+12) が肯定群を選択しています。保護者の意識の高まりに反して、児童全体でも否定群を選択する値が増えていることがわかりました。高学年になるにつれての読書への関心が薄くなっていますこともわかりました。そして教職員の意識が低いことも分かりました。学校ではじっくりと読む時間がとれていないことも理由かもしれません。放課後の様子を聞いてみると、「メディアを使って読むことも増えた」とする児童もいましたが、読む活動のさらなる充実の必要を感じています。「じゃんけんほん」の皆様にはたくさんのご支援をいただきました。火曜日朝の読みかたり、学年ごとのロングじやんけんほん、学年への授業関連図書の配架等、ありがとうございます。またベルマーク委員さんからは今年度、職員室前にベルマーク文庫も作っていただきました。しっかりと活用していきたいと思います。

### <豊かな心について>

重点目標【1 社会性を身に付け、自尊感情を高める人間関係づくり・集団作りに努める 2 子どもの規範意識を高め、子どもが安心して学べる学校づくりを進める 3 道徳教育の充実を図る】

### ⑦ 「あいさつ」に関する項目

「友だちや先生・地域の人に対する挨拶」では、児童の 77% (-3) ができていると評価しています。高学年児童の方が肯定群を選んでいることがわかりました。挨拶は相手を思いやる気持ち、相手の存在を認めていることを相手に積極的に伝える大切なことです。実際、廊下などですれ違った際にしっかりと挨拶ができる高学年の児童が増えてきています。素敵な高学年児童をお手本に、学校全体に挨拶の輪がどんどん広がっていってくれることを願っています。

### ⑧ 「やさしさ」⑨ 「きまり」⑩ 「もの大切にする」に関する項目

これらの項目では、9割以上の児童ができるとする肯定群を選択しています。休み時間の運動場などを見ていますが、学年が入り混じって遊ぶ姿がたくさん見られる光景です。友だちに対しての声かけやかかわりを見ても優しく接する姿があちらこちらで見られ、ほほえましく感じています。地域やご家庭でのお子へたちのかかわりのおかげです。感謝をしております。学校では、引き続き規律のある学級経営の充実とともに、道徳教育や人権教育「なかまの日」の取組を、児童の実態や発達段階に応じた学習内容を工夫して進めています。

### ⑪ 「相談」に関する項目

児童 79% (-1)、保護者 89% (+1)、教職員 96% (-4) が肯定群を選択しています。なかなか話しづらいというのは高学年になるにつれて増えてはいくものとも考えますが、本当に困ったときには相談ができる人がいるという状況はしっかりと確保しておかなければならぬと考えます。話しやすい雰囲気や学級、学校をつくることができるよう、児童と信頼関係を築けるように努力していきます。地域や保護者の皆様におかれましても、お子たちのことでお気づきになられたことは、ご遠慮なくご相談ください。学級担任だけでなく学年主任、管理職、養護教諭、スクールカウンセラー等の複数の教職員で児童の情報を共有し連携して、一人ひとりの児童を支援していきます。

### ⑫ 「自尊感情」に関する項目

児童の 76% (±0) ができるとする肯定群を選択しています。自尊感情は、自分を好きだという気持ち、大切に思う気持ちです。自分をありのままに受け入れて認めることができるよう、様々な学習体験や友だち、先生とのかかわりを通して、一人ひとりの児童が自分のよさを感じることができるようにしていきたいと考えます。一人ひとりの児童が自分らしくいられる場、持続的に安心感を得られる場、他者に認められる場としての学校づくりを徹底して進めています。

### <健やかな体について>

重点目標【1 運動やスポーツの実践と体力の向上 2 保健教育の充実 3 安全教育の充実】

### ⑬ 「基本的な生活習慣」に関する項目

児童の 76% (-2) 保護者 77% (-2) が肯定群を選択しています。しっかりと休憩がとれていない様子も見受けられます。お子たちの体調の管理をどうぞよろしくお願ひいたします。マイタイムデーの調査ではゲーム機やPC、スマートフォン等の利用時間が年々伸びていることがわかります。学習、健康、依存症問題など様々な観点から、ゲームやSNSの時間が長くならないよう、情報教育の中で指導していきます。ついつい利用する時間が長くなりがちですが、約束事はきちんと守ることができるように声かけをお願いします。

### ⑭ 「運動・外遊びに関する項目

児童 84% (+2)、保護者 63% (-2) ができるとする肯定群を選択しています。体づくりや体力向上の観点から、体育学習や保健指導を中心に、体を動かすことの大切さを伝えたいと考えます。また、休み時間を利用した学級遊び等を通して、集団遊びの楽しさを味わうことから積極的な運動につなげたいと考えます。放課後になかなか遊ぶ場所が少ない本校の校区ではあります。学校は年間を通して 16:15 まで校庭を開放しています。お声かけをしていただければありがとうございます。

### ⑮ 「偏食に関する項目

児童 79% (-2) ができるとする肯定群を選択しています。食は体づくりの根幹です。学校では給食指導だけでなく、食への関心を高めるために食育の指導を栄養教諭を中心に行っています。また、友だちと一緒に食べる食を通して、食べるものの楽しさを味わえるよう工夫しています。苦手な食べ物を食べるよう無理強いすることはできませんが、苦手な食材でも少しだけなら食べられるという児童も少なくありません。食べることが好きになり、豊かな食生活を送ることができるようにしていきたいと思います。

### ⑯ 「安全に関する項目

児童 92% (-4) ができるとする肯定群を選択しています。児童も常に安全を意識して行動し、ご家庭でも指導してくださっていることがわかります。また朱雀第八小学校交通安全協議会の皆様には、いつも大変お世話になっております。自分の身を守る、命を守ることは最優先課題です。しかし、私たちが遭遇するかもしれない危険は実に多種多様であり、いつどのような形で、危険にさらされるかわかりません。学校ではあらゆる場面を想定し、多様な安全指導・訓練を行っていますが、さらなる充実を図っていきたいと考えます。ご家庭におかれましても、十分にお話をいただいていると思いますが、また折に触れ、よろしくお願ひいたします。

### <確かな学力に向けて>

重点目標【1 子ども一人ひとりが課題解決に向けて主体的に学ぶ力を伸ばす 2 対話的な学びを通してコミュニケーション能力を育成する 3 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を目指す】

### ① 「授業理解」に関する項目

児童 92% (-2)、保護者 96% (±0) が学校の学習がわかるとする肯定群を選択しています。中学年児童の肯定群の値が一番高くなっています。高学年になるとにつれ難しくなる学習内容、個に寄り添う指導・フォローを全教職員で行っています。勉強がわかると思う児童が増えるように日々の授業を大切にし、家庭との連携を丁寧に行い、確かな学力を目指していきたいと考えています。また、来年度も学年内での交換授業や複数教員による協力指導、そして外部講師を招いての特別授業等の充実を進めています。

### ② 「話す・聞く」③ 「場面にあった「話しかけ」に関する項目

②の項目に関しては児童 87% (+1)、保護者 92% (+3) が肯定群を評価しています。③の項目では、児童 88% (+2)、保護者 86% (+2) が肯定群を評価しています。今年度の研究では、「対話力を育てる」指導の工夫を進めてきました。友だちとのかかわりを通して高めあうことができるよう取り組んできました。児童の様子を見ていると、苦手意識をもつ児童もいますが、高学年になるとつれて様々な友だちと関わる機会も増え、また授業の中でも意図的・計画的に対話に取り組むことで、力を伸ばしてきていることを感じています。「聞く」ことについては、今後も丁寧に指導をしていきます。相手の思いや考えを受け止め尊重し、共感することや理解することで、より良い人間関係を築くための力につけていきたいと考えています。

### 自由記述欄

- ・担任以外の先生にもいろいろと関わっていただき、ありがとうございます。
- ・家ではまだまだフォローするところもあるが、学校でもしていただき、ありがとうございます。
- ・自分で調べることをするようになってからは、自分で考えながら宿題をするようになりました。
- ・諦めない気持ちが育ってきているのかなと思います。
- ・勉強面で「ここがわからない」といえる時間が週1でも月1でもあればと思います。
- ・休み時間に外遊びをするように声をかけてほしい。
- ・夏期間はのこり遊びを16:30にしてほしい。